

くまもと

議会だより

101号
2021.5.10



つなぐ

開通を待つ相良仮橋

目次	3月定例会	2
	3月定例会議案等審議結果	4
	被災地の今	5
	一般質問	7
	編集後記	14

令和3年度一般会計当初予算、
総額58億6,500万円で過去最大

災害公営住宅（復興住宅）建設へ

3月定例会の概要

開会 令和3年3月12日
閉会 令和3年3月19日
会期 8日

審議内容

報告1件

議案21件・指定管理2件

- ・ 条例9件
- ・ 予算10件

委員会提案議案 1件

一般会計及び特別会計
それぞれの令和2年度
補正予算5件、令和3
年度当初予算5件を審
議、可決

一般会計補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応の新規事業、村営一勝地友尻団地跡地に仮設店舗設置する経費、災害廃棄物等処理経費を約29億円増額、球磨中学校技

術室の解体費などが計上され、36億円近く追加し、歳入歳出総額137億3,450万8千円となりました。

令和3年度一般会計当初予算の主なものは、災害公営住宅等の建設を実施するための測量設計費、地域ごとの復興まちづくり計画策定業務委託料、村有施設解体撤去工事費、新型コロナウイルススワクチン接種経費、一勝地交流センターかわせみの温泉事業を村で運営する経費、被災した商工業者へのなりわい補助金に村独自で上乘せする補助金、個人住宅の水害保険掛金への一部補助金、農地や道路・河川の災害復旧費などが計上され、歳入歳出総額58億6,500万円の予算編成となりました。

【報告】

① 損害賠償額の決定

業務委託を契約解除した際に発生した損害賠償の報告

【指定管理】

① 球磨村高齢者生活福祉センター

「せせらぎ」

指定した団体…社会福祉法人球磨村社会福祉協議会

② 田舎の体験交流館

「たんがっし」

指定した団体…田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

※指定の期間は、どちらも令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間

【条例制定・改正・廃止】

① 一勝地交流センター「かわせみ」の設置及び管理に関する条例の全部改正

「かわせみ」を指定管理だけ

でなく、村が直接運営できるように改正

② 球磨村農地及び農業用施設災害復興旧事業分担金徴収条例

農地及び農業用施設災害復興事業において、受益者から徴収する分担金について必要な事項を制定

③ 球磨村治山事業分担金徴収条例

治山事業において、受益者から徴収する分担金について必要な事項を制定

④ 球磨村多目的集会施設設置条例を廃止

球磨村総合運動公園の設置及び管理に関する条例を廃止

災害により、設置目的のおり使用できないことから、条例を廃止

⑤ 球磨村総合運動公園の設置及び管理に関する条例を廃止

災害により、設置目的のおり使用できないことから、条例を廃止

⑥ 球磨村営住宅管理条例の一部改正
村営住宅の解体に伴う改正

⑦ 球磨村コミュニティセンター清流館条例の一部改正
役場横「清流館」の一部を事務室として使用していることから改正

⑧ 球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
学校医の報酬額等の変更に对应するための改正

⑨ 球磨村介護保険条例の一部改正
介護保険料の改定

【議会運営委員会提案】

球磨村議会委員会条例の一部改正
令和3年4月から役場の課の再編が行われることから、各常任委員会の所管課を変更

令和3年度一般会計予算審議（抜粋）

田代利一議員：全体を通しての村長の所感は？

答え：復興に向けた予算を最優先として計上。本年度、復興に向けて取り組んでいきたい。

高澤康成議員：消防詰所の再建は地元を中心にという考えだが、ある程度、村も補助するという考えでいいのか？

答え：村の補助規定もある。県の復興基金と合わせて補助ができればと考えている。

高澤康成議員：複式学級解消に向けて、補正予算でも村独自の教員配置の考えは？

答え：年度中に複式学級は確定しており、補正予算での対応は困難。

令和4年度に向けてであれば、県と協議を行い、予算を確保して、教員を採用するという対応が必要。令和3年度においては、復興支援の加配がつきそうな状況である。

東 純一議員：新型コロナウイルスワクチン接種の準備体制は？

答え：4月後半には、第1陣が来るであろうという情報のもとに、体制整備を進めている。個別接種で考えている。

田代利一議員：林道東俣線開設はあとどれくらいかかるのか？

答え：当初10年計画であったが、6、7年経ち進捗率40%程度で、残り10年から15年かかるのではないかとと思われる。

嶽本孝司議員：住宅整備事業測量設計業務委託料の場所は？

答え：一勝地永崎団地奥の、現況田である箇所を予定している。

3月定例会 議案等の審議結果

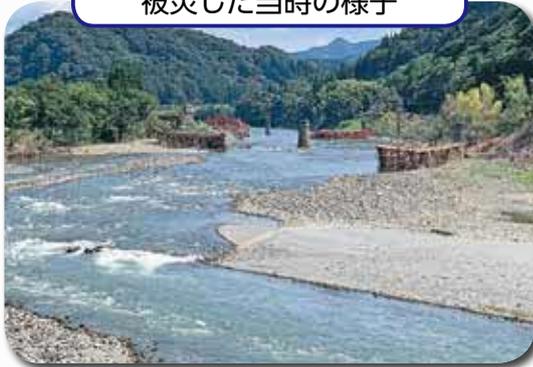
	議案番号	件名	結果
1	報告第7号	専決処分の報告について	報告
2	議案第7号	球磨村高齢者生活福祉センター「せせらぎ」の指定管理者の指定について	原案可決
3	議案第8号	田舎の体験交流館「さんがうら」の指定管理者の指定について	原案可決
4	議案第9号	一勝地交流センター「かわせみ」の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について	原案可決
5	議案第10号	球磨村農地及び農業用施設災害復旧事業分担金徴収条例の制定について	原案可決
6	議案第11号	球磨村治山事業分担金徴収条例の制定について	原案可決
7	議案第12号	球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
8	議案第13号	球磨村宮住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
9	議案第14号	球磨村多目的集会施設設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決
10	議案第15号	球磨村コミュニティセンター清流館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
11	議案第16号	球磨村総合運動公園の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決
12	議案第17号	球磨村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
13	議案第18号	令和2年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
14	議案第19号	令和2年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
15	議案第20号	令和2年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
16	議案第21号	令和2年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
17	議案第22号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
18	議案第23号	令和3年度球磨村一般会計予算について	原案可決
19	議案第24号	令和3年度球磨村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
20	議案第25号	令和3年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
21	議案第26号	令和3年度球磨村介護保険特別会計予算について	原案可決
22	議案第27号	令和3年度球磨村簡易水道特別会計予算について	原案可決
23	発委第1号	球磨村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

被災地の今・・・

球磨村に大きな被害をもたらした、令和2年7月豪雨から10ヶ月がたち、被災した当時のままの風景もまだまだ多く残ります。しかし、この10ヶ月で、国や県をはじめ多くのボランティアの方々等のご支援をいただき、村内では徐々にですが復旧が進んできました。

災害の教訓を活かしながら、被災したこの地で、今を、そしてこれからを一緒に進んでいきましょう。

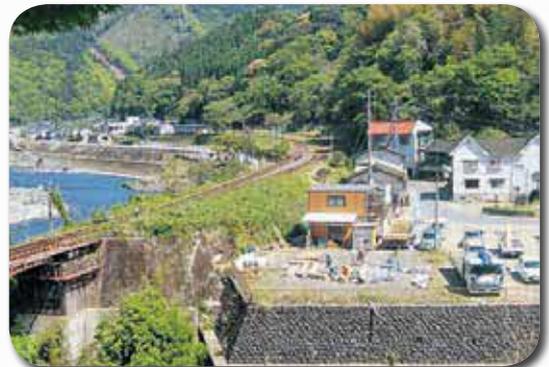
被災した当時の様子



被災した場所の今の様子



渡地域の落橋した相良橋と第二球磨川橋梁



一勝寺から友尻地区と球磨川の様子



神瀬地域 川内川 (木屋角地区)

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代利一議員	① 復興計画について ② 第三セクターの運営について ③ 農業振興について	7
板崎壽一議員	① 所信表明について	8
高澤康成議員	① 復旧・復興について ② 第三セクター運営の今後	9
東 純一議員	① 地域再生 ② 仮設住宅状況と今後の土地造成、住宅建設 ③ 住まいの再建 ④ 被災地での現状	10
小川俊治議員	① 復旧・復興計画案 ② 治水対策 ③ 教育行政	11
舟戸治生議員	① むらづくり ・令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興について	12
多武義治議員	① 今、被災者が求めているものとは	13



復興計画の基本方針は

答

被災者の生活再建が重要

質問 宅地候補として議会に提示している一勝地の永崎団地周辺は、水害にあっていないため安

全な宅地と思うが。
門崎副村長 現在詳細を調査中であるが、ハザードマップを見直しながら、起こり得る最大規模でいくと永崎団地周辺も5m〜10mの浸水地区となり、どう対応しているか工夫しながら考えていきたい。

質問 復興計画における教育環境の改善とは。
森教育長 第一に被災した渡小学校の教育環境の改善であり、現在、狭いコンテナハウスの黒板のない教室で、不自由な教育活動を行っている。球磨中への移転には、授業時間・規格の違いの設備などで共生することがむずかしく、二学期から教育活動ができるプレハブ棟を、中学校の教室から離れた場所に建設予定である。また、学校再編の検討委員会を立ちあげ、渡小学校を単独で再建、少子化における複式学級、小中学校の統廃合を含めた村全体の教育環境の改善について検討中である。

質問 被災した農家の離農が懸念されるが。
犬童産業振興課長 大きく被災した農地・施設があるが、復旧を進めていき、水稲作付が出来ない所には奨励作物を推奨し離農対策を検討していきたい。

質問 安全・安心して暮らせる宅地の確保は。
高永ふるさと創生課長 現在安全な宅地は運動公園で、国・県と協議しながら対策を講じ、安全な宅地の確保に努めたい。

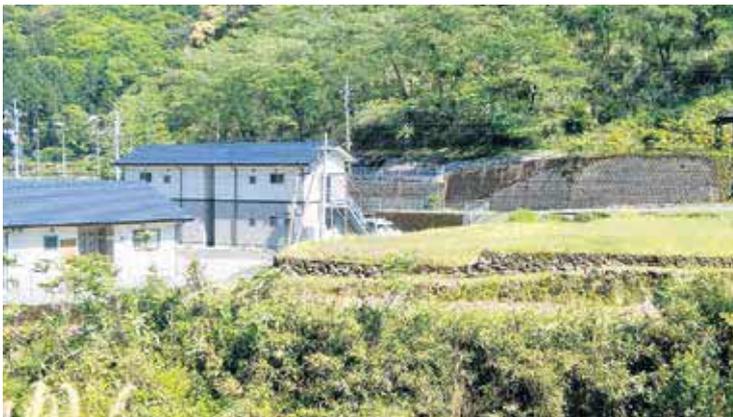
質問 一勝地温泉「かわせみ」の経営状況と今後の展望は。
松谷村長 開設より24年を迎え、村内外からの多くの利用をいただいていたが、人吉球磨管内に同様の施設が乱立し、また、昨今のコロナ禍の影響と豪雨災害による国道の全面通行止など、利用者の激減により非常に厳しい経営状況である。今後、住民の福祉の観点から、温泉の火を消すことなく村営で管理し、コロナ禍の収束と、国道全面開通状況を見定めながら、指定管理者を選定する。当分の間は、温泉経営だけをしていきたい。

質問 球磨村の農業の未来への展望は。
松谷村長 現在農業を主とされる

人が減少している状況の中、村としてはスマート農林業と、なりわいの再生支援に取り組んでいく。



田代 利一 議員



新たな宅地候補の永崎団地

公約の大きな柱 「人口減少の歯止め」と「所得向上」は



**新型コロナ感染拡大と7月豪雨災害により
実施にいたっていない**

質問 公約の大きな柱「人口減少の歯止め」と「所得向上」は。

後の復旧・復興にも支援の充実を図る。

松谷村長 令和2年度3回の臨時会において「人口の減少の歯止め」と「所得向上」の二つを大きな柱として実現に向け振興策を考えてきた。人口減少の歯止めとして、

質問 観光振興・地域福祉・障害者福祉・子育て及び教育支援について。

渡地区を中心とした村営住宅建設と併せて、分譲地による定住を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大及び7月の豪雨災害により実施にいたっていない。

松谷村長 7月豪雨災害後、国道219号が全面通行止となり、新型コロナウイルス感染拡大と重なり、「球泉洞」・「かわせみ」・「さんかうら」など大きな影響を受けている。村全体が被災していることから活動を縮小している状況である。地域福祉としては、「地域支え合いセンター」を中心に高齢者主体に支援を行っており、障害者支援については、渡の就労支援施設を多くの方が利用されていたが、7月豪雨災害で被災され、経営者が替わったため人吉市へ移転したが、村内の人も利用されている。子育て及び教育支援は、保育園から小中学

校及び障害者支援施設の連携がなされ、被災した子どもを取り巻く環境が大きく変化していることから、さらなる支援が必要と思う。

質問 防災事業について防災管理官の役割は。

質問 7月豪雨災害による人口減少は。

大岩住民福祉課長 災害後、毎月整理をしているが7月以降の転出者は143名で、転出の理由はわからない。

松谷村長 所得向上については、7月豪雨災害により被災事業者が多く、再建へ向け支援を行い、今

山口総務課長 昨今の大きな災害が国内外で発生している事を踏まえ、平成29年4月から、村民の防災意識の醸成を図るとともに、地域防災力の強化等に一般任期付職員として任用し、球磨川水害タイムラインの作成や防災ブロック会議、地域防災計画の見直しなどに従事し、地域自主防災組織の結成や小中学校と連携した防災教育に参画している。7月の豪雨災害では防災管理官として避難勧告、避難指示（緊急）を防災無線で呼びかけ



板崎 壽一 議員

るなどの指揮を取り、現在、豪雨災害において行政行動の検証など主体的に取り組んでいる。

松谷村長 任期は5年間で、残り一年となるが防災管理官の役割は大切なものであり、今後も必要と思いつい来年度も考えていきたい。



再開をめざす球泉洞

「かわせみ」運営の考えは

答 見通しが立つまでは村で管理。国道全線開通状況を見定めながら指定管理を適切に選定する



規模縮小の一勝地温泉かわせみ

質問 宅地確保は、治水対策

の方向性を示す中において一歩前へ進んでおくことが重要と考える。村長が描く将来の球磨村再構築構想を具体的な言葉で伝えることを村民は望んでいるのではないか。

松谷村長 復旧・復興に関しては、

村民の生活再建を最重要事項に位置づけしている。国において、治水対策の概要説明がなされたので、

さらに国、県と連携し、スピード感を持って取り組んでいく。

質問 「かわせみ」運営は、村

長としてビジョンを持っておくことも必要である。一時的な規模縮小営業から、将来の第3セクター運営の考えについては。

松谷村長 「かわせみ」は、本村の

観光の主要施設である。先の見通しが立つまでは村で管理させていただき、国道219号全線開通状況を見定めながら、指定管理を適切に選定し、復旧・復興につなげていきたい。

質問 球磨村復興計画について、住民は、もう一歩、追求した

ものを求めている。どこまで踏み

込んで意見に添えていくのかだと思

う。代替案も8ヶ所で答弁が終わっている。国が示す基準とは別に、代替案を具体性を持ったものにしておかなければ、住民の再建も遅れてしまう。もう少し、踏み込んで説明するべきではないか。

松谷村長 国より説明会があり、

そこでもはっきりした説明はされていない状況だったが、村から要望していく姿勢で取り組んでいきたい。

質問 中園高沢線は、生活道

としてそこで生活してきた人々を考えると、特例でも新設道路を含めた新しい道路網の要望もするべきではないか。地域にとっては、大きな課題である。

松谷村長 災害復旧に関しては、

現状復帰という基本的なものはあ

るが、さらに強く造っていただく方向性で村から要望していきたい。

質問 教育分野で、復興計画の

中にも令和3年度以降、再編も含めたという表現がされている。しっかりと球磨村の将来性を持った教育環境の充実を図るため議論を積極的にする。今の現状踏まえて、この再編という固有名詞が、教育長の言葉として、将来的な教育環境に対してどのように思っておられるのか。

森教育長 来年度に向けては、入

学者も減っており、複式学級も両校に発生していく。今後2年、3年過ぎていく中で、児童数も減っていくと統合も十分見据えてやっていかなければならない。また、小中の一貫教育というのも一つの選択肢の中で考えていかなければいけないと思っている。



高澤 康成 議員

運動公園グラウンドは



別の場所に造る可能性がある

質問 地域別協議会の立ち上げも計画しておられるが、どれくらいの範囲ごとの地域別協議会であるか。

松谷村長 当面は、防災ブロック会議組織を母体として回したい。場合によっては、集落単位や近隣集落合同立ち上げも可能である。

質問 現在、仮設住宅敷地となっている運動公園グラウンドについて、今後どのように考えておられるか。また、グラウンドの移転新設は考えられるか。

松谷村長 住宅が建てられる場所は限られており、村営住宅として残す可能性もあると思う。運動スペースについては、別の場所に新設する可能性もあると今は思っている。

質問 限られた球磨村の土地面積、候補地面積でもある。村有地については、先行してでも宅地

造成が必要ではないか。また、建設については、2階、3階建ての団地様式の建て方も考えられるのではないか。

高永ふるさと創生課長 取りかかりやすいのは、村有地の有効活用かと考える。災害公営住宅の高層化、そういったのも今後ニーズに合わせて計画し、意見を聞きながら計画に反映させていければと考えている。

質問 仮設住宅敷地内の一角にでも畑とか、花壇を設ければ、入居者の心と、体のケアになると思うが。

松村保健医療課長 被災している人で、自宅にこもっている人が結構多いようである。心や体のケアのために、畑仕事をする。花を植える。とてもいいことではないかと思う。

松谷村長 仮設生活の長期化、そ

ういうところも踏まえて検討していきたい。

質問 治水対策が絡んでくる土地計画がある中、すでに自宅を再建、再建中の人も増えている。今後示されて来るであろう計画案に対し、そのような人への対応はどのようにされるのか。

松谷村長 自宅再建後に生じた治水対策事業に対する対応としては、国土交通省が主体となる事業であり、村として、対策事業が円滑に進むよう協力をしていく。

質問 自宅再建後に生じるかもしれない土地計画に対し、補償や支援について、可能な範囲でも村から説明があれば、村民も少しは安心するのではないか。

上部建設課長 国が主体となって



東 純一 議員

おり、移転補償の話もあった。村もできるだけ協力すると村長も答弁したところである。

質問 被災地における治安や、近づく雨の季節に対し不安を覚える。地域住民の状況把握や、災害に備えての対応は。

松谷村長 防災・防犯への注意喚起、呼びかけも併せて行い、きめ細かい対応を図っていきたい。



災害公営住宅予定地のたかおと

複式学級解消のため、 村の財源持ち出しはできないか

答

教育委員会とともに検討しながら進める

質問

昨年10月の復旧・復興基本方針提示から5ヶ月、かさ上げ・高台予定地、治水対策が憶測だけで、基本方針が独り歩きし混乱している状況である。この間、何も対策を講じることができなかったのか。

松谷村長 2月10日から28日まで

の間、仮設団地内みんなの家、役場庁舎、交流館さんがうら、村のホームページに掲載し広くご意見を聴取し計画に反映してきた。

質問

広く村民の意見を求めたとされるが、どれだけの村民に伝わったのか疑問。意見・要望などについてどのように計画に盛り込まれるのか。

高永ふるさと創生課長 復興計画

策定委員会でもその時期、そのステージに応じて変更していくことも必要との意見もあり、そのことも踏まえ考えたい。

質問

復興計画の見直し、変更の時期は。

高永ふるさと創生課長 計画の進

捗管理は社会情勢、経済情勢の変化や復興の状況を見て、必要に応じて見直す。

質問

国交省から緊急治水対策としての事業説明がされたが、村としての対応は。

松谷村長 治水対策の概要が示さ

れたことから、スピード感を持って対応していきたい。今後は、村の方向性、地域別協議会での意見の内容で国に要望していく。

質問

学校経営の概念と過疎地における教育行政は。

森教育長 学校経営とは、校長が

学校教育目標の実現に向けて、学校運営管理統括、マネージメントしていく一連の営み。過疎地は小規模校となるが、学校規模の大小により学力の差につながることはな

い。教師の目が届き、実態に応じた、きめ細かな指導ができる。また、地域の教育との連携ができるなどのメリットもある。

質問

被災した渡小学校の現地での開校の見直しは。

森教育長 被災した渡小学校の敷

地は宅地かさ上げ等の候補地であり、今後の整備の方向性が示された後に、住宅地か、学校敷地になるのか決まる。造成工事も相当の期間を要することとなり、現段階での見直しはたたない。

質問

過疎化や災害後の児童生徒の減少が予想されるが、複式学級の基準は。

森教育長 義務教育標準法で学級

編成の標準数値が示され基準となる。必ず複式化しなさいではなく、できるということ。

質問

国の基準は、絶対しなければならぬことではない。そこで、村が財源を持ち出すこともできると思うが。

森教育長 県の教職員配置数は標

準数に応じ配置となるが、複式を解消するのであれば、市町村の財源で人件費を賄うしかない。あざぎり町須恵小学校では町で職員を雇用し、複式解消を図っている。

質問

複式学級解消のため、村の財源で対応できないか。

松谷村長 教育委員会とともに検討しながら進める。

小川 俊治 議員



被災した渡小学校

治水対策の考えは

答 地下、今村地区の遊水地については有効と考える

質問 球磨村課設置条例の全部が改正されたが、さまざまな問題に挑戦する意識と能力を持った職員をどのように育成していけるのか。

松谷村長 若い職員が十分な経験を積むことのないまま、管理ポストに就くことがないよう、部下育成に必要なコミュニケーションの醸成を図る研修を行っている。

質問 職員の能力を考えた村長の人事異動の考えは。

松谷村長 情報を収集した上で、いろんな人の意見を聞きながら、人事異動させていただく。

質問 村民の知恵と力を行政運営に反映していくため、住民参加の機会、拡充が求められると思うが、その考えは。

松谷村長 復興に向けての課題や球磨村の将来像の話を出していた

だけ、今後、地域別協議会を立ち上げたい。

質問 地域社会に奉仕する消防団員の処遇改善の状況は。

松谷村長 平成28年4月に団員報酬の改正を行い、継続的な消防団活動の動機づけとして対策を行ってきた。

質問 今回の豪雨災害で消防団の装備の被害状況は。

山口総務課長 消防団詰所が、7ヶ所被災し、積載車も4台が被災を受けた。

質問 防災対策で、交通機関が止まっている深夜に大災害が発生し停電した場合、職員の招集と避難所への派遣の対応は。

松谷村長 過去の経験や、これまでの職員全体の緊急参集訓練も行っており、それぞれの判断に基づき

行動することになる。

質問 安全な避難場所、避難所、避難ルートの見直し、そして、浸水の深さや避難所などの標識設置についての考えは。

山口総務課長 現在、災害の検証を行っているところだが、この検証をもとに、再度、避難ルートなどの見直しが必要となってくるものと思われる。

質問 道路・河川・橋梁などが被害を受けて日常生活に大きな障害となっている。橋梁の高さ、止水栓はどのようになっているのか。

松谷村長 村内でも輪中堤、宅地かさ上げ、引堤、遊水地等の整備が検討されている。橋梁の高さは、その河川沿いの治水対策後の高さ



舟戸 治生 議員

に関連するので、橋梁を架ける位置を含めて検討中と聞いている。

質問 豪雨により球磨川の治水対策の村としての考えは。

松谷村長 技術的、経済的にも景勝地「球磨川」をいじるのは難しいと考えた場合、地下、今村地区の遊水地については、有効だと考えている。



被災した消防団詰所（中園）

運動公園仮設住宅は 村営住宅として活用

答

そのような考えで対応したい

質問

被災者の意見で最も多いのが、新たな住まい（宅地）をどこに求めたらいいのかという問題だ。いちばん知りたいことがわからないため、今後の計画が立たず、日に日にいらいら感が増しているように思える。この被災者の思いに、どう応えていくのか

松谷村長 村民アンケートでは、多くの人が球磨村に住み続けたいと回答されている。かさ上げや高台などへの移転希望や、災害公営住宅への入居を求める声が多くあり、被災者が安心して再建の道筋を立てられるよう、方向性を早く示す必要がある。

質問

方向性を早くという答えだが、早くがいつなのかということが、いちばん知りたいことだ。そこで、新たな宅地に関して復興計画の中に、村内8ヶ所を候補地として示されているが。

松谷村長 渡の運動公園や旧神瀬

小学校周辺などは村有地であり、小川地区や峯地区周辺は渡の中心地でもあり、国道沿いということもあり、かさ上げして、将来的には宅地にできればという考えだ。

質問

用地交渉が必要になるが、どの課でやるのか。

門崎副村長 建設課でやるか、復興推進課でやるのか検討する。

質問

スピード感が問われている。役場内の体制も早く整えるべきだ。次に、国交省の治水に関する住民説明会が先日行われた。その中のかさ上げについて、一勝地区が7ヶ所、神瀬地区が9ヶ所と資料に書いてあった。場所が早く分かるよう国交省にはたらきかけてもらいたい。

門崎副村長

国交省の説明もまだあいまいなので、情報は早めに村にいただいて住民の皆様へお伝えできればと考えている。

質問

かさ上げの事業実施に

関して、治水対策実施後との説明があった。出席者から実施後とはいつなのかという質問が多かったが、国交省からは明確な答えはなかった。

門崎副村長 ダム完成など治水対策実施後にかさ上げを実施するということではなく、治水対策後の計算上の水位が確定すれば実施という理解だ。ただ、公共事業なので用地補償などすべて終了しないと実際の工事にかかれない問題は残る。

質問

渡の一王寺団地の住民から、ここはかさ上げの対象になるのかという質問をよくいただくが。

門崎副村長

復興計画の中で村内8ヶ所を新たな宅地の候補地として示している。すべて達成することではない。あくまでも候補地である。一王寺団地含めて、



運動公園仮設団地

それ以外の場所については現時点での計画はない。

質問

運動公園にある建設型の仮設住宅に関しては、数年後役目が終了しても、県にお願いして低家賃で村営住宅として活用してほしい。

松谷村長

村としても、そのような考えで対応したい。

質問

最後に、村長には行政の長としての仕事と、一方では政治家としての仕事もある。被災者の負託に応える強いメッセージを出すことも重要だ。

多武 義治 議員

おかえりなさい。

よみがえった渡小の「復興ピアノ」



ピアニスト西村由紀江さんと横笛で共演するMOVE代表の山中裕貴さん

7月豪雨で被災した渡小学校体育館のピアノが帰ってきました。

被災したピアノは、ボランティアMOVEの皆さんの「絶対直せるはず」との気持ちと福島県いわき市の調教師の遠藤さん、日本全国の支援の方々の協力で修復されたものです。

3月21日には、渡小学校の児童、保護者、村民の多くが集まり、「あのとき壊れたピアノが希望の音色を奏でる日として」復興記念式典と演奏会が開催されました。

どなたでも傍聴できます。

次回は、6月定例議会（日時未定）

3月定例議会の傍聴人数は延べ20人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

編集後記

球磨川沿岸の桜も、被災地の更地に咲く菜の花も例年より早く咲き誇り、春という季節がやって来た。

今春のピカピカの一年生は九名で、一勝地小学校三名、渡小学校六名のかわいいかわいい新入生である。

盛大に行われるはずの入学式が、新型コロナウイルス感染拡大や、豪雨災害による学校移転などで制限され、新入生はもろろん保護者の皆様も非常に残念であろう。これからの6年間、前を向き元気で明るく学校生活を楽しんでもらいたいものである。豪雨災害の復旧・復興は少しずつであるが目に見えて進んでいる。

時は待ってくれない。苦しい事などに背を向けず明るい未来へ一歩ずつ進もう。

板崎 壽一

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一

■球磨村世帯数:1,363世帯 ■人口:3,393人 男:1,596人 女:1,743人(令和3年4月1日現在)